

役員所感

副理事長 市川 裕光

我々を取り巻く経済情勢は、まだまだ先行きの見通しが悪く、暗闇からの脱却が困難な状況が続く中で、生活の基盤であるこの上越市を活性化させる取り組みは、あらゆる切り口によりこれまでもずっと進められています。また逼迫したこの状況からの打開策の一つとして、行政への提言や積極的な参加も推進されていますが、更なる活動が必要であると感じ、青年経済人で発想豊かな我々 J A Y C E E が率先して活動していくことが重要です。

私は J C に入会して 11 年目を迎えました。幸せなことに若い歳から入会する機会を得て、さまざまな諸先輩と接することができ、その方々との活動から多くの知識や経験を体得し、今の自分がいます。入会当初は歳も経験も若輩者でしたが、今ではかつて勉学を共にした同級生も増え、また自分より歳が若いメンバーも理事を経験し、頼もしい J A Y C E E になりつつあります。これまで培ってきた自分の経験を、僭越ながらこの副理事長という立場によって、組織の中におけるその役職の意味と責任をしっかりと肝に銘じ、彼らに思う存分提供していきます。在籍するメンバーは多種多様な業種に携わっており、それぞれの業種の強みや諸団体との連携を活かし、若い力を振り絞り、今直面している地域経済の活性、または市民によるこれまで以上の市政への参加推進といった上越市の課題・諸問題に立ち向かい、明るい豊かなまちづくりを共に目指してまいります。同時に、彼らと活動をすることで、これまで以上に知識の上乗せを目指し、自身のスキルアップに繋げ、いち経済人として、または企業のパイオニアとして成長し、地域の発展に寄与していきます。

来年はいよいよ創立 50 周年を迎えます。過去 48 年の実績と経験を活かし、かつ若い我々青年経済人の力を持ってすれば、故郷上越市が抱える課題・困難に対して明るい未来の道筋を牽く一助になることを確信し、活動が 50 周年の布石になるよう邁進いたします。